http://www.miyako-rotary.net/

2013年2月8日　外部講師例会（第2655回例会）

開会点鐘

ソング　◎我等の生業

ゲスト紹介　◎宮古公共職業安定所
所長　川下牧夫 氏

本日の行事　◎外部講師例会
講師：宮古公共職業安定所
所長　川下牧夫氏
演題：「宮古地域における最近の求人状況について」

出席報告　熊谷力実 会員　1月中の出席率 62.1％

会員数	出席免除者数	出席数	出 席 率	先 週 の 修正出席率
29	0	16	55.2%	58.6%

ニコニコBOX

熊 谷 会 員　本日の講師に川下所長をお迎えして。

佐々木(順)会員　今日は法人会女性会がございますので早退します。

坂 下 会 員　宮古法人会女性部会の新春セミナーのため早退させていただきます。

佐々木(敏)会員　教育委員会定例会のため15分前で早退します。

花 坂 会 員　2/6に宮古警察署にて「宮古の歴史について」の講演をしてきました。

幹事報告

その他の報告事項

1．地区大会のご案内

日時・場所

４月19日(金)

親睦記念ゴルフ　南部富士カントリークラブ
8:00受付　8:30スタート

４月20日(土)

会長・幹事会　14:00開館
ホテルメトロポリタン盛岡本館4F「岩手の間」

指導者育成セミナー　15:45開館
ホテルメトロポリタン盛岡本館4F「岩手の間」

RI会長代理歓迎晩餐会　18:00着席
ホテルメトロポリタンニューウィング4F「メトロホール」

４月21日(日)

本会議　10:20着席
二戸市民文化会館（大ホール）＊昼食あり

大会懇親会　17:10開宴
「カシオペアメッセなにやーと」

＊締切　３月22日(金)

2．ガバナーノミニーについて
◎山口淑子氏（盛岡滝ノ口RC所属）

3．北上和賀ロータリークラブ
会長　佐藤ケイ子
実行委員長　田鎖浩司
◎創立20周年記念式典及び祝賀会のご案内

日　時　　平成25年4月6日(土)
　　登録開始：午後３時～
　　記念式典：午後４時～
　　懇 親 会：午後５時30分～
場　所　　ホテルシティプラザ北上
登録料　　会員　10,000円　ご夫人　7,000円
締　切　　３月５日(火)

4．次年度地区組織役員・委員の就任依頼
◎2013-14年度インターアクト委員会副委員長
　門馬光一会員

5．ガバナー　小野寺則雄
◎2012-13年度 GSE受入についてのお願いとご連絡
◎同内容　１部変更について

6．ガバナー　小野寺則雄
　新世代委員会委員長・RYLA委員長　門馬光一
◎2520地区2770地区合同RYLA研修のご案内
　日　時　平成25年3月23日(土)10時～
　　3月24日(日)13時（一泊になります）
　会　場　岩手県立県南青少年の家
　登録料　ロータリアン　5,000円
　締　切　２月22日(金)

7．岩手県立宮古水産高等学校　校長　在原眞
◎平成24年度卒業証書授与式について（ご案内）
　日時　平成25年3月1日(金)　午前10時　開式
　場所　本校第一体育館
　締切　２月19日(火)

8．NPO法人岩手県青少年自立支援センター
◎ポランの広場通信・みんなの家　ひまわり

宮古RC　中野会長挨拶

みなさん、こんにちは。本日は第2655回の例会でございます。本日は外部講師として宮古職業安定所所長川下牧夫様が、後ほどいらっしゃいましてスピーチをしていただきます。

外部講師例会

宮古地域における最近の求人状況について

宮古職業安定所所長
川　下　牧　夫様

みなさん、こんにちは。本日は職業安定所のアピールをさせていただきたいと思います。題目は「宮古地域における最近の求人状況について」のお話をさせていただきます。

私は、震災後になりますが、平成23年の７月に宮古に転勤してまいりました。それ以前は久慈におりまして、宮古ほどではありませんが、同じように震災の大きな被害を受けました。実は、以前にも宮古に勤務しておりまして、平成４年と５年の二年間、宮古で勤務しておりました。

ハローワークは、平成２年に全国で愛称を募集して決めることになりました。候補の中から「ハロー」という挨拶の言葉と、「ワーク」という働くという言葉を組み合わせて、「ハローワーク」と名付けられました。

現在は厚生労働省→労働局→労働基準監督署とハローワークがあります。

ハローワークは県内には10ヵ所の本署があり、２ヵ所の出張所があります。その中の一つの本署が宮古公共職業安定所となります。

宮古の求人倍率は(求職者ひとりあたり、求人がどれだけあるかをみるもの)、平成4年12月の1.07倍を最後に、一倍を超えることなく減少していました。平成23年の震災の影響もあり、20年後の平成24年８月に1.00倍、平成24年12月に1.27倍になりました。６ヶ月平均で全国の平均を上回り、5ヶ月平均で岩手県の平均を上回っております。要因は、求職者が減少傾向で推移しているためです。求人は、復興・復旧関連の事業と被災した事業所の再開による求人が増加しています。

職業別で申し上げますと、「ミスマッチ」が発生しており、求職者と求人者の求める職種・労働条件の相違がありました。例えば、保安職（警備・交通整理）の求人は292人に対して、有効求職者は６人となり48.67倍です。建設・採掘（復興・復旧）においても、2.30倍で非常に高くなっております。

安定所別の有効求人倍率は、内陸と沿岸に分けると、以前は内陸の方は多かったのですが、現在では、沿岸の方が高く、1.34倍で、内陸は0.93倍となっております。

大船渡市は1.54倍、釜石市1.46倍、宮古市1.27倍、久慈市1.07倍とすべて１倍以上で、盛岡は1.01倍で、それ以外は１倍以下となります。

都道府県別では、福島県1.18倍（全国１位）、宮城県1.15倍（４位）、岩手県0.89倍（15位）、山形県0.93倍、秋田県0.72倍、青森県0.60倍となっております。